

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【家庭／家庭総合】

1. 対象

地球環境や持続可能なライフスタイルについて、関心はあるものの自分が今、何をどうすればよいか具体的に考えるまでには至っていない。身近な食生活を題材にすることでSDGsの理念でもある「地球上の誰ひとりとして取り残さない持続可能な社会の実現」に向けて、気づきを与えたい。能動的な学習の場面では、積極性に欠ける部分もみられる。

2. 単元名 「消費生活と持続可能な社会」（全3時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

①知識・技能	持続可能な社会に向けて各種の法令が定められていること、その理念や主旨について理解できている。
②思考・判断・表現	自然の保全のために、生産・流通・消費・廃棄の各段階にわたって問題解決をはかることの重要性を認識している。
③主体的に学習に取り組む態度	日常生活の中で環境問題を意識し、新聞記事やテレビなどマスコミの報道に関心を寄せている。

4. 本時の目標

SDGs ターゲット 12「つくる責任つかう責任」に配慮した持続可能なライフスタイルについて、食生活の観点から 課題解決に向けて考え、工夫しようとする態度を育てる。

5. 授業展開【 本時 ・ 単元 】 ※本時または単元いずれかに○を付けてください。

解決したい課題や問い

フードロスの現状に対し、個人またはみんなで、できることはないだろうか？
グループで「フードロス削減宣言」を考え、その理由もまとめよう。

考えるための材料

材料A	材料B	材料C
ダイヤモンドランキング	みんなのできることを考える	キャッチフレーズ化
想定される活動		
個人、その後グループでランキングを作ることにより、自分の意見や思考を整理し、話し合いを通して、意見を再考し、よりよいものにする。	ダイヤモンドランキングをもとに集団や組織、社会全体で取り組めることはないかグループで考え、まとめる。	考えた内容をキャッチフレーズ化することにより、グループで意見を振り返り、要約し、まとめる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

グループ形態：4人程度（近くの座席にいる生徒をまとめる）

時間設定：ダイヤモンドランキング作成…5分、みんなのできることを考える…10分、

「フードロス削減宣言(キャッチフレーズ)」を考える…5分

対話や思考のプロセス：

「ランキング1位はどれにすればいいと思う？」

「他の順位はどうする？」

「優先度の高いものを組み合わせることができるって何があるかな？」

「ランキングが下でもここここを組み合わせるとこんなこともできるかもしれないよ？」

「どんな言葉を使ったら、できることをわかりやすく伝えられるかな？」

「絶対に使いたいキーワードってある？」

「この言葉を使うとインパクトが強くて、覚えてもらえそうだよ。」

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

「フードロスに関心を持つことができた。」

「これからは“もったいない”ことができるだけなくなるように気を付けて生活しよう。」

「自分だけが気を付けるのではなく、みんなにもフードロスの現状について、伝えられるといいな。」